木材ジャーナル名古屋・せいぶ

令和７年5月号　No.216

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

政経文化講演会

令和７年３月19日(水)午後３時から名古屋木材会館において、会員事業社54名が参加し、元林野庁長官、現独立行政法人農林漁業信用基金　牧元幸司理事長をお招きし「政経文化講演会」が開催されました。『我が座右の銘と林政』と題し、林野庁在職中に取り組んだ林業労働力確保法、公共建築物等木材利用促進法、TPP交渉、森林環境税について、成立までの取り組み経緯、社会背景と成立のタイミングなど中国の古典にあるエピソードを交えながらの講演は参加者を釘付けにしました。

令和７年度名古屋木材業界新入社員歓迎会・講習会

令和７年４月４日(金)午後１時30分から名古屋木材会館において、名古屋木材組合員各社の新入社員20名(参加企業８社)を迎え、名古屋木材組合主催、名古屋木材青壮年会主管により歓迎会、講習会が開催された。

最初に西垣洋一組合長は自身が社会人１年目のときに先輩から勧められ読んで感銘を受けた幕末の志士、橋本佐内の「啓発録」を紹介し、「稚心を去る」「気を振ふ」「志を立つ」「学に勉む」「交友を択ぶ」の５か条を解説し、社会人として気構えを持つようと激励した。

この後、新入社員を代表して柏原朔弥さん（江口木材㈱）が「今まで経験したことのない厳しい困難に直面しても学生生活での経験を活かし、充実した毎日を送りたい。一日も早く皆様の期待にそえる社会人になるよう精進します」と誓いの言葉を述べた。

続いて、名古屋木材青壮年会令和７年度会長　片桐洋介氏よりオリエンテーションのあと、

講習会①「新社会人のためのビジネス・マナー」として外部専門講師矢田美穂子先生が、・挨拶の仕方・名刺交換・電話対応・来客対応などを実習した。

講習会②「木材の基礎知識」として、名古屋木材青壮年会　友松　功氏を講師に「商品の基礎知識」「建築の基礎知識」「流通の基礎知識」の講習会が行われた。

令和７年度模範従業員　表彰式

令和７年４月17日(木)午前10時より名古屋木材会館において、木材業界に永年勤務され、他の模範となる名古屋木材組合員各社従業員の方々に対する表彰式が開催された。

児玉　豊文化厚生委員長の司会進行のもと、西垣洋一組合長の主催者挨拶の後、名古屋市長表彰、名古屋木材組合長表彰が行われ、賞状及び記念品が手渡された。

その後、市長（代理　名古屋市経済局産業労働部　加藤　護産業企画課長補佐）からの祝辞が寄せられ、受賞者を代表して荒木宣勝氏（㈱山西）が謝辞を述べた。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

◎市長賞（勤続年数30年以上）

・菅澤光哲（上地木材㈱）・山本博康（上地木材㈱）
・萩迫亮一（㈱上地サッシセンター）・荒木宣勝（㈱山西）・山峅貴昭（㈱山西）
・小林浩司（㈱山西）・寺澤真一（㈱山西）・脇口祐司（㈱山西）

◎組合長賞（勤続年数15年以上）

・伊藤幸治（上地木材㈱）・小島　修（上地木材㈱）・森田真二（上地木材㈱）
・伊藤　章（㈱サンコー）・大久保真満（㈱サンコー）・魚澄知之（㈱サンコー）
・吉田拓史（材惣DMBホールディングス㈱）・加藤博之（材惣木材㈱）
・夏目佳幸（材惣木材㈱）・梅田　歩（材惣木材㈱）・本田尚子（材惣木材㈱）
・夏目碧織（材惣木材㈱）・水本広樹（㈱東海プレカット）・小山重之（㈱東海プレカット）
・亀島政則（フルハシＥＰＯ㈱）・仁木智之（フルハシＥＰＯ㈱）・高橋和己（フルハシＥＰＯ㈱）
・三﨑隆照（フルハシＥＰＯ㈱）・美濃村　学（フルハシＥＰＯ㈱）・長澤　誠（丸美産業㈱）
・福島浩幸（㈱山西）・石垣無我（㈱山西）・森田千晴（㈱山西）・江﨑　旭（㈱山西）

“いま、木に本気”くらしに活かそう木の良さを

さわやかとーく

ゲスト：片桐　洋介　名古屋木材青壮年会会長
聞き手：江口　達郎　広報委員長(名古屋木材組合)

「さわやかとーく」の今回のゲストは名古屋木材青壮年会の2025年度会長に就任された片桐洋介氏をお迎えしました。コロナ禍の３年半に及ぶ自粛活動は仕事や生活に大きな影響を与えました。感染症対策としてやむを得ないことですが、当時の「ニューノーマル」の行動規範は新たな生活スタイルを生み出しているようです。新たな価値環境を生きていく若い世代として、どう対処していくべきでしょうか。その思いを語っていただきました。

（聞き手は、江口達郎広報委員長）

—第68期会長の就任おめでとうございます。まず会長としての抱負からお聞かせください。

片桐　私は昭和61年生まれで、メンバーには同年が２人いますが、年齢は40代以上が多く、その一方で私の下の30歳未満の若い会員の塊もあって、その間に挟まった存在です。６年前、名古屋で開催された全国大会を経験した一番下の世代ということになります。会の過去の遺産などを、どう引き継いでいけばいいか、難しさを感じます。

コロナ禍によって会の活動は大きく変わってしまいました。会合についてもリアル会議が減り、ほとんどZOOM会議でしたから、終わってからの飲食会も減りますし、当然親しく交流する時間も減りました。私自身は限られたそういう時間がとても楽しかったので、今も続いているということでしょうね。

しかし、今の人たちは時間とかお金の「コスパ」を大事にされています。つまり「何のために会に参加するのか」ということを問いかけてきます。顔を見せるだけで、なかなか会合に参加できない人も多く、現在33名いる会員の中で、いつも参加するコアな会員は半数以下でしょう。そういう状態の中で、歴史のあるこの会をどうリードしていくか。私の会長スローガンは「相手を知り、共に成長する」とさせてもらいました。名古屋と愛知県の仲間に働きかけ、積極的に活動を進めたいと思います。

—コロナ明けでも、会合は集まりは少ないですか。

片桐　ZOOMがノーマルになってしまっています。長くやっていると違和感がなくなりますから。ZOOM会合は何かのきっかけにはなりますが、それだけでは、なかなか親睦はできませんし、会の良さを広げ伝統を引き継ぐことは難しいでしょう。

—私の時代は木材という関係の中で、共に楽しく過ごす関係は素晴らしいと考えてきましたが、これも昭和的なんでしょうかね。

ところで、木材業界に入って10年ですが、入ってから思うことはありますか。

片桐　大学は建築科ですが、写真が好きで休学して写真専門学校の夜間に２年間通っていました。カメラマンなどのバイトをしながら学校に通いましたが、その経験は、今の仕事の内装や意匠的な部分、画像編集などの分野で活かされていると思います。建築も見た目が重要ですからね。その後、２～３年は異業種の小売業の仕事をして、28歳の時に父の会社に入りました。入社前は、もっと天然の素材を使っているのかと思っていましたが、意外に加工品や部材化された工業製品的なものも多いなと思いました。だから、最初は「木材を使う価値はいったい何かな」と思いました。今は設計者などから「外観はこうしたいが、どうすればいいか」などと聞かれ、顧客との間を橋渡しして形にするのがメーカーの仕事だ」と10年間で勉強をさせてもらっています。私の生まれた地域でも、小さな頃はいっぱい材木屋さんや大工さんがいましたが、今はいませんね。木材を使いたくても、誰にどう聞けばいいかも分からない状態ですね。

—現在、仕事で何に関心をもっていますか。

片桐　最近強く思うことは、うちで使う広葉樹の資源の減少ですね。とくに欧州などの輸入材は量も質も急激に悪化しています。商いの形も変えていかないといけません。ですから、持続的な木材利用に強く関心を持っています。代替材や代替樹種をみつけていかないと利用する木材がなくなってしまうという危機感ですね。そのことに関心があります。

—そうすると趣味は写真ですか。

片桐　写真と野球観戦ですね。ナゴヤ球場の近くで生まれ、大のドラゴンズファンですが、昨今の戦力からして、もう10年は我慢ですかね。（笑）

片桐　洋介氏（かたぎり・ようすけ）
1986年6月、名古屋市生まれ。38歳。福井大学建築科の在学中に写真専門学校でも2年間学び、2012年に福井大学を卒業。異業種に勤務後、15年に父君が経営する片桐銘木工業㈱に入社。好きな言葉は、イチロー選手の「自分が何をするのかを忘れてはいけない」。

◆合縁木縁◆

「 COFIツアー 」

昨年10月にCOFI-C（カナダ林産審議会）によるブリティッシュ・コロンビア州(以下BC州)沿岸視察ツアーが催行され、招待頂き参加してきました。

内容としては、6泊8日でBC州の林業に関する最新情報（製材工場見学・シッパー訪問・森林管理等）とマスティンバープロジェクトを視察し、最新の非住宅事業について学ぶツアーとなっていました。私を含め9社の商社・問屋・メーカー・プレカット工場の方が参加されました。

現在の世界の森林面積は約40億ヘクタールでロシア約20％、ブラジル約12％に次いで約9％でカナダは3番目に多い国となっております。その中でも92％は公有林となっており、持続可能な森林管理が厳格になされています。(BC州は単体でも8番目)

そんなカナダで2010年のバンクーバー五輪開催の1年前にウッドファースト法が制定され、その成果として2017年に建設されたブリティッシュ・コロンビア大学の学生寮Brock Commonsがあります。

当時としては主要構造に木材を利用した世界一高い建物で約2200㎥の木材が使用されております。(現在はアメリカのアセントタワーだが、オーストラリアで建設中の「C6」が完成すれば入れ替わる予定の様です)

仕事の話はさておき、色々気になった点として、物価高があります。
滞在時の食事はある程度用意されており、自分で支払う機会があまりありませんでしたが、スターバックスで朝食を食べようものなら、コーヒーとサンドイッチで2,000円近くかかる価格だったと思います。

その他、2018年に大麻の所持・使用が合法化された影響かは分かりませんが、観光地でもあるガスタウンには昼間でもホームレスや薬物依存の人々が多く、リアルバイオハザード的な雰囲気もあり、実際、ツアーの4ヵ月程前には、日本食レストランで働いていた日本人男性が刺されて亡くなったという事件も起きました。

そういった事ばかりでなく、4日目に宿泊したBC州の州都ビクトリアは英国風な建物や街並みで本土とは違った雰囲気が味わえました。

今回、色々と勉強になることは多かったですが参加メンバーとは定期的に食事会等しており、そういった繋がりが一番の収穫だったのではと思います。

次回は、大日本木材防腐株式会社　高久 博昭氏にお願いします。

名古屋：大日本木材防腐㈱　小杉恵吾

◆自遊ご異見番◆

「いまどきの葬儀場」

今年に入り母親が肺炎を発症し、2か月間の入院生活の後、他界しました。90歳を超えていましたのである程度は覚悟をしていましたが、最後は苦しむことなく、潮が引くが如く、スーっと息を引き取ったことが何よりの救いでした。

医師からは持って1~2か月と宣告されていましたので、事前に葬儀会社へ相談を掛けました。幸いにも母親がその葬儀会社の互助会に入会していましたので、葬儀会社を探すところから始めなければならないという事態は避けることができました。

最初に電話で事前相談を申し込んだ際には、斎場には常駐スタッフがいないため、葬儀が行われるときに担当者が本部より参りますとの説明を受けました。今回は実家から近い斎場で葬儀を執り行うことができましたが、事前相談の段階から担当者の方がその斎場まで出向いてくれました。近年は各斎場にはスタッフを常駐させず、葬儀毎に人員を配置するそうです。人材不足なのかあるいは人件費抑制のためにシステマチックに運営されているのかわかりませんが、そのためか死亡連絡を入れた際に病院から斎場までの担当者、湯灌時の担当者、通夜式の担当者、葬儀当日の担当者、初七日法要の担当者、全て担当者が違っていました。担当者が変わるたびに名刺を渡されましたが、こんなにも入れ代わり立ち代わり担当者が代わって上手くコミュニケーションが取れるのかと少々不安を抱きつつも一 連の葬儀は無事終了できました。

今回利用した斎場は比較的新しく設備も充実していました。昨今、家族葬が主流であるためなのかホール自体もコンパクトにまとめられてお りました。また、通夜の晩に寝ずの番（今の線香は渦巻き型で12時間は交換不要）で宿泊する人も少なくなったのか、仮眠をとるための部屋は大部屋の控室ではなく、寝室にベッドが2組用意され、豪華なユニットバスまでも備え付けられて、まるでホテル並みでした。他社との差別化を図り、互助会会員を募るためにはここまでの設備が必要とされるのでしょうか。

今までは自分が見送られる側に立って考えたことはありませんが、今回の葬儀を経て改めて残された家族が途方に暮れることの無いように、子供達には葬儀にかかわった 一 連の流れを記録として残して置こうと思います。

名古屋 広報委員：式守正光（名古屋木材㈱）

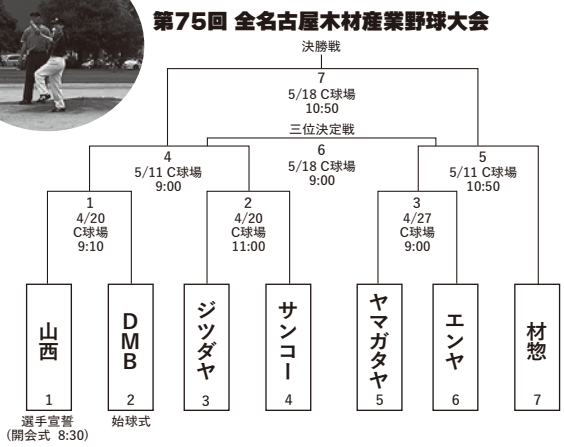
第75回全名古屋木材産業野球大会開幕

「第75回全名古屋木材産業野球大会」（名古屋木材健康保険組合、名古屋木材組合、名古屋港木材産業協同組合共催）の開会式及び第1試合、第2試合が「木場南C球場」で4月20日（日）午前8時30分から開催されました。

今大会は昨年より1チーム少ない7チームの参加となりました。開会式は各チーム名の書かれたプラカードを手に整列し行われました。

山本剛久大会委員長が「大会の趣旨は健康と親睦です。怪我のないように十分注意していただき、いいプレーが出たとき敵味方関係なく拍手を送っていただければと思います。」と挨拶されました。

山西チームの立木雅浩選手が元気に選手宣誓を行い、続いて名古屋ダイヤモンド野球連盟の中村審判がルール説明を行った後、DMBチームのゲストによる始球式で大会の幕が開きました。



☆☆☆　西部臨海安全ニュース　☆☆☆

4・5・6月は不審者増加！

例年、4･5･6月は警察に寄せられる不審者情報が増加します。
子供や女性が登下校時や通勤時等の時間帯に不審者に遭遇することが多い傾向があります。
不審者に声を掛けられたり、つきまとわれたりして困っている人を目撃したときは、傍観者とならず声を掛け、すぐに警察に通報してください。

蟹江警察署　生活安全課　生活安全係　TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

発　行　名古屋木材組合
発行者　西垣洋一
〒460－0017　名古屋市中区松原2－18－10
TEL〈052〉331－9386
FAX〈052〉322－3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発　行　名古屋港木材産業協同組合
発行者　服部伸一
〒490－1444　海部郡飛島村木場1－74
TEL〈0567〉57－2017
FAX〈0567〉57－2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会